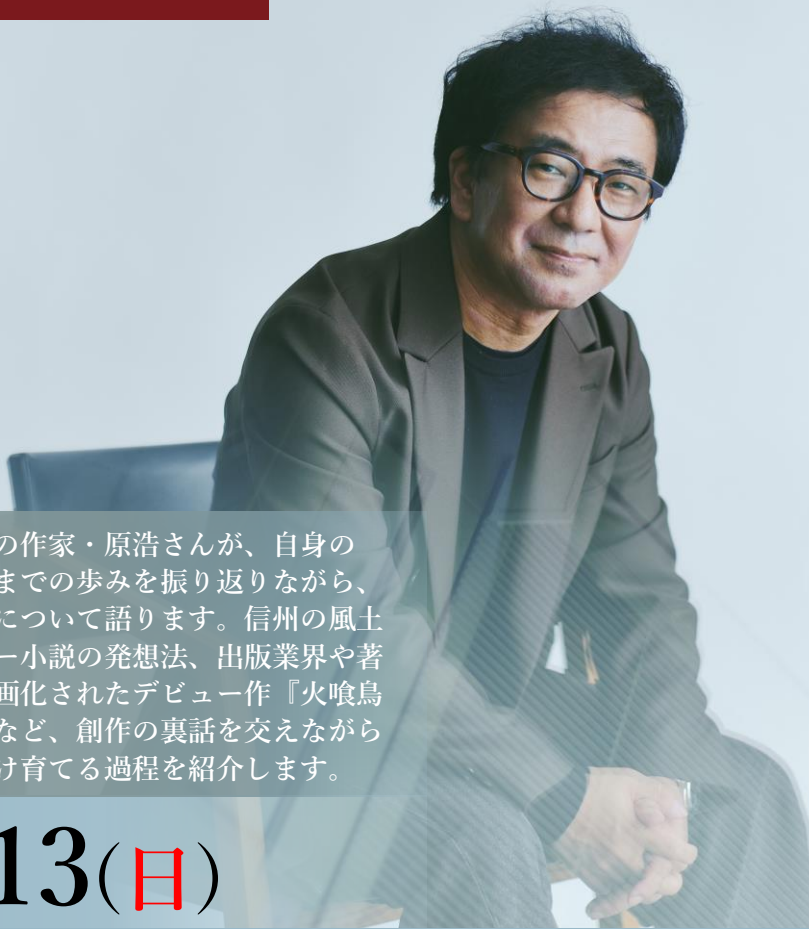


信州育ちの作家が語る『物語』の種



信州（伊那市）出身の作家・原浩さんが、自身のルーツや作家になるまでの歩みを振り返りながら、物語が生まれる瞬間について語ります。信州の風土と創作の関係、ホラー小説の発想法、出版業界や著名作家との交流、映画化されたデビュー作『火喰鳥を、喰う』の舞台裏など、創作の裏話を交えながら「物語の種」を見つけ育てる過程を紹介します。

2026/9/13(日)

14:00-16:00(開場13:30)

塩尻市市民交流センター（えんぱーく）

3階 多目的ホール 定員 130人 参加費 無料

申込開始日 7/17 (金)

申込方法

図書館本館総合カウンター、電話（0263-53-3365）、Googleフォーム（右記の二次元コード）からお申し込みください。



Googleフォーム二次元コード

原浩（はら・こう）

1974年長野県伊那市生まれ。東洋大学卒業。システムエンジニアを経て3DCGデザイナーに転身し、家庭用ゲームソフトや遊技機の映像制作、企画開発に携わる。会社勤務の傍ら執筆活動を始め、『火喰鳥』で第40回横溝正史ミステリ&ホラー大賞を受賞。受賞作は『火喰鳥を、喰う』と改題して刊行され、映画化された。地方に残る伝承や因習、人の心に潜む恐怖を題材に、怪異とミステリが交錯する作品を発表。著書に『やまのめの六人』『蜘蛛の牢より落つるもの』『身から出た闇』などがある。

【問い合わせ】塩尻市立図書館本館 Tel 0263-53-3365

（毎週水曜日・資料整理日休館）

えんぱーく・図書館

“Follow me!”



Facebook



Instagram



X